

2009年5月27日

ランクセスのバイオディーゼル燃料安定剤「バイノックス」、 欧州で特許を取得

～ バイオディーゼル燃料の長期にわたる安定化を実現したプレミアム製品 ～

ランクセス株式会社

特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、「バイノックス(Baynox[®]) 液状グレード」が、欧州特許庁から特許(特許番号:EP 1 563 041 B)を取得したことを発表しました。この酸化防止剤は濃縮された液状品で、バイオディーゼル燃料を長期にわたり安定化させる特長があります(注1)。ランクセスは、基礎化学品ビジネスユニットが管理するバイオディーゼル燃料安定剤の分野において、大幅な拡販を期待しています。

「バイノックス」の3人の発明者のうち、ランクセスの化学者アクセル・インゲンドー博士は、次のように述べています(発明者は特許に記載されています)。「今回の特許取得は、ランクセスのこれまでの尽力が評価されたことであり、ランクセスが特殊化学品のリーディング・メーカーとして、成長軌道に乗っていることを改めて証明しています。『バイノックス』は、ドイツの鉱油業者から承認された最初のバイオディーゼル燃料安定剤で、同製品なしでは企業規模に関わらず、多くのバイオディーゼル燃料メーカーが市場で成功することは困難だったと思います。」

「バイノックス」は、純バイオディーゼル燃料の製品寿命を延長する用途では、添加量に制限がありません。また法規制に伴い、ディーゼル燃料に混合するバイオディーゼル燃料(B5)の保存期間も延長することができます。「バイノックス」は、バイオディーゼル品質管理協会(AGQM)から「無害」認定を獲得しており、自動車のエンジンへの影響を抑えることができます。また「バイノックス」の有効成分であるブチル化ヒドロキシルエン(BHT)は、硫黄や窒素を含有せず、残留物を生成せずに完全に燃焼します。

基礎化学品ビジネスユニットは、アドバンスト中間体部門(2008年度売上高:13億1,000万ユーロ)に属しています。

注1)バイオディーゼル燃料の安定性について

バイオディーゼル燃料は、通常、菜種油、廃食油、動物性油脂、ヤシ油など高脂肪食品から製造され、不安定で腐敗しやすいという特徴を持っています。安定性が低いバイオディーゼル燃料で

は、空気中の酸素との接触や、燃料タンク・貯蔵タンク内のわずかな温度上昇でも異臭を発生します。これは遊離脂肪酸が発生するためで、エンジンを腐食させる原因にもなります。「バイノックス」は、バイオディーゼル燃料の分解を抑えることができるため、この現象を防止することができます。

#

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで5月5日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,600人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認ください。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ
佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-00095J)